

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東北)	◎	－	－
	○	商店街（代表者）	・クリスマス、年末年始で来客数の増加が見込める。
	○	一般小売店〔医薬品〕 （経営者）	・客の様子をみると、目的の商品以外に目に付いた商品も購入している。この状況は続くとみている。
	○	スーパー（店長）	・競合他社に負けない売場づくりや商品づくりが客の支持を得ており、来客数の伸びなどの数値に表れている。
	○	スーパー（店長）	・年頭に自社販売促進の変更があり、来客数、販売点数が減少したものの、1年が経過し、徐々に回復するとみている。
	○	コンビニ（エリア担当）	・中国が日本人向けの短期ビザ免除を再開することにより、日本へ観光で訪れる中国人も増える可能性がある。
	○	乗用車販売店（従業員）	・初売りや決算の時期になり、来客数、販売数が増えるともっている。
	○	住関連専門店（経営者）	・受注生産をしているため2～3か月後の受注量は確定している。今月と同様にやや良い状況になる。
	○	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・寒さが例年どおりになれば、配達灯油の販売数量も回復してくるとみている。
	○	一般レストラン（経営者）	・12月は忘年会シーズンであり、忙しくなることを期待している。
	○	観光型旅館（スタッフ）	・2～3月は卒業シーズンとなり人が集まる機会が増えるため、景気はやや良くなるとみている。
	○	旅行代理店（従業員）	・桜の時期のインバウンド需要で先行予約が入っているが、日本人需要が増える時期と重なるため、大きな伸びは期待できない。それ以降の閑散期にインバウンド需要が伸びることを期待している。
	○	旅行代理店（従業員）	・当社契約宿泊施設の2～3か月先の販売状況については、前年比約2%良くなっている。
	○	旅行代理店（従業員）	・年末年始は10連休の取得も可能であるため、帰省客の先行予約も入っている。
	○	タクシー運転手	・買物客の利用が見込めるほか、年末年始は温泉街に行く客の増加が見込まれる。
	○	タクシー運転手	・通勤、通院、出張などの移動のほかに、新年会や雪祭りなどのイベントが行われるため、タクシーの利用者数の増加が見込まれる。
	○	通信会社（社会貢献担当）	・年度末に向けて需要が増える。
	○	観光名所（職員）	・12月から2月の予約状況は非常に順調である。12月は前年実績を上回る予約が入っている。1月、2月は過去最高だった今年の来客数と同等の予約数が入っている。景気はやや上向くとみている。
	○	競艇場（職員）	・毎年12月から2月にかけては売上が増加する傾向にある。年末年始のイベントは集客が見込め、売上も良くなるとみている。
	□	商店街（代表者）	・年末年始のセール、イベントは例年どおり予定されているが、大きな伸びは期待できず、横ばいが続くとみている。
□	一般小売店〔医薬品〕 （経営者）	・物価の上昇が年内で落ち着けば、消費者は高い物価水準に慣れるとみている。	
□	一般小売店〔酒〕（経営者）	・年末年始に向けて期待をしたいところだが、現状維持で精一杯である。これからの季節、今以上に光熱費等の負担が重くのしかかってくるため、ますます買い控え傾向が強まるとみている。	
□	一般小売店〔医薬品〕 （経営者）	・当店のこれまでの状況から、景気は一進一退の状況が続くとみている。	
□	一般小売店〔寝具〕（経営者）	・ここ数か月、商品の回転が非常に悪い状態が続いており、年末や新年に向けて不安しかない。物価高がいつまで続くのか分からず、客の買い控えは続くとみている。	
□	一般小売店〔雑貨〕（経営者）	・物価の上昇が止まらず、客もかなり慎重になっている。チラシをまいても、他店のチラシと比較され、安いものだけが動いている。商店街でスタンプラリーを実施しているが、購買意欲を刺激するには至っていない。	

<input type="checkbox"/>	百貨店（企画担当）	・婦人服や紳士服は秋冬商材の不振が続いており、客単価が下落している。また、食品も購入客数の減少が続いている。この状況は変わらない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（経営者）	・高価格帯商品の動きは衣食住の各領域で今のまま堅調に推移するとみている。物価高の影響で中間層の生活防衛意識が高まり、食料品への影響が今まで以上に大きくなることを懸念している。
<input type="checkbox"/>	百貨店（催事担当）	・物価上昇による生活防衛意識から、購買を必要最小限に抑える傾向は今後も続くと予想され、消費行動が回復するのは難しいとみている。
<input type="checkbox"/>	百貨店（従業員）	・年末年始などのギフトシーズンに入るが、需要が減少傾向にある。物価や光熱費の高騰が続くことから、生活防衛による買い控えは継続するとみている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経営者）	・低価格品への需要があるものの、値上げ商品への価格転嫁は続くこととみている。人件費を含む諸経費の増加が続くなか、収益バランスを考慮した価格戦略が重要になる。消費動向を一層冷静に見ていかなければならない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・ますます寒くなり光熱費の負担が増えることで、食費が削られることを懸念している。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・来客数が前年を上回る傾向は続くこととみているが、より良くなるための材料は見当たらない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	・農家の多い地域にあって、米価が上がり果樹の自然災害も少なかった今年は、当店でも増収増益を期待したいところだが、年間で最大の売上となる歳末商戦に向けては、いまだ盛り上がり欠けている。ギフトや土産品などは商品単価も低く、販売数も前年を下回っている。今後は家庭内需要を中心に強化する方向である。
<input type="checkbox"/>	スーパー（商品担当）	・年明け以降、米やパンなど主食品の値上げが予定されているため、他の食料品を節約する傾向になると予想している。結果、買上点数が減り、客単価は現状と変わらないとみている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（業務担当）	・大きく変わることはないとみている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・平日日中の客単価や買上点数はほぼ横ばいで推移している。今後も大きく変わることはないとみている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・地方では賃金が上がっていないことに加え、ガソリン、電気、水道の料金が軒並み上昇しており、食料品に回す金が削られている。売上が改善しない状況は続くこととみている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・年末年始も周辺の動きに変化はなく、来客数は横ばいが続くこととみている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・年始以降も外的環境は変わらず、景気も変化はないとみている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・年末年始で大きく金が動くが、物価高騰のなかでの消費者の動きに対し、どう対応するかが難しい。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・選挙で政権政党が惨敗したため、今後の様子をみたい。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・節約志向の高まりによる個人消費の停滞は今後も続くこととみている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・天候が平年並みに落ち着くと客足は戻り、来客数はほぼ横ばいになるとみている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・平年より寒く、雪が多くなるとの予報もあり、冬物商材の動きが見込める反面、春物商材の立ち遅れが危惧される。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・買い控えの傾向は続くこととみている。景気回復の見通しが立たない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（総務担当）	・冬のボーナス支給時期になるが、客からは厳しい話を多く聞く。景気回復に期待は持てない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（従業員）	・景気の見通しは良くない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（従業員）	・初売りは盛り上がるものの、その後の新入学・新生活商戦は年々売上が減少傾向にあるため、トータルでは大きな変化はないとみている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・年末決算や初売りで来客数は増加するが、メーカーのキャンペーン対象車種と、販売可能な車種をみると、売上は例年と変わらないとみている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・メーカーは国内向けに配車量を増やすと言っているが、毎月トーンダウンしている。

□	乗用車販売店（店長）	・スタッドレスタイヤ等の季節商材も値上がりしているため、購入を控えたり必要最低限の購入にとどめたりする客が目立つ。車両だけでなくサービス部門の売上も前年並みをキープするのがようやくである。この状況は続くともっている。
□	住関連専門店（インテリアコーディネーター）	・建物が売れても附属のものが売れない。客を見ても富裕層と国民の大部分である中間層との差が広がっているように見える。せめてその差が広がらないことを願っている。
□	その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（経営者）	・売上につながる商品も情報もない。ただひたすら売上が下がり続ける状況になるとみている。打開策も見つからず八方塞がりである。
□	その他専門店〔靴〕（経営者）	・生活必需品の値上がりもあるが、靴も値上がりしているため、他社と比較してから購入する客が多い。
□	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・クリスマスケーキやおせちなどの価格を前年より20%から30%アップした店舗があるが、受注に苦戦している。エネルギーコストの上昇が家計に与える影響が懸念され、ボーナス支給後の消費拡大も不透明である。引き続き、客の節約志向は続くともっている。
□	高級レストラン（支配人）	・予約状況は鈍化傾向にあり、当面来客数の増加は見込めない。
□	一般レストラン（経営者）	・これまで利用していた団体からの予約が入らなくなっている。景気は低調なまま推移するとみている。
□	一般レストラン（経営者）	・客から新年会は開催しないという話を聞く。
□	観光型ホテル（スタッフ）	・手取りが増えない限り、身の回りの景気は上向かないとみている。
□	観光型旅館（経営者）	・好転する要素が見当たらず、変わらないとみている。
□	都市型ホテル（スタッフ）	・雪の季節になる。今年は紅葉の時期と同様に多くのインバウンドが来るとみている。
□	通信会社（経営者）	・テレビ、インターネット、電話の同時加入者向けキャンペーン及び集合住宅への通信設備導入など法人向けサービスの展開により、通信サービス加入者数の増加が期待できる。放送サービスは、番組コンテンツ等の充実が一段落するため、加入者数の大幅な増加は期待できない。
□	通信会社（営業担当）	・景気に好影響を与えるような材料に乏しく、好転は見込めない。
□	通信会社（営業担当）	・今までの経済対策で何も変わらないため、今後も変わらないとみている。
□	テーマパーク（職員）	・買上率が下がり、購入商品は低価格帯に集中している。配布用の土産は減少傾向にあり、自分用には高価格帯のものを少量購入する傾向にある。この状況は変わらないとみている。
□	遊園地（経営者）	・世界情勢や為替の動きによる物価上昇が今後どう推移するか不透明であり、家計への影響は楽観できない。
□	美容室（経営者）	・物価上昇分の販売価格への転嫁はすぐには難しいため、現状維持とみている。
□	美容室（経営者）	・物価の上昇が続いているため、良くなるとはいえない。
□	美容室（経営者）	・常連客だけで新規客は少ないため、変わらないとみている。
□	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・品不足や長納期も解消しており、当面の懸念材料はない。
□	設計事務所（経営者）	・今年度の受注量がある程度確保できている。次年度以降につながる営業活動に移行しつつある。
□	住宅販売会社（経営者）	・新築住宅の受注は低調だが、10年から20年前に新築したオール電化住宅の経年劣化に伴う大規模リフォームが増えており、売上を補填している。
□	その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・住宅設備機器は暖房器具の購入、給湯設備の交換が増えるともっている。リフォームは物価高騰により商材や部材が値上がりしているが、価格に反映させるのは難しい状況である。
▲	商店街（代表者）	・物価上昇と先行き不安で、年末年始も消費意欲は高まりそうにない。
▲	商店街（代表者）	・人件費や仕入価格の上昇等で商店街店舗は疲弊している。倒産や廃業が増えるともっている。

	▲	コンビニ（経営者）	・気温の低下に伴い来客数が著しく減少している。特に天候の悪い日は来客数、売上共に2割程度減少するため、これからの季節、数字を伸ばすのは厳しい。
	▲	コンビニ（経営者）	・最低賃金引上げで利益が10数万円減少している。今後その影響が重くのしかかってくる。
	▲	コンビニ（経営者）	・景気が上向きになる要素は見当たらない。
	▲	コンビニ（エリア担当）	・米価やエネルギー価格は前年よりも大きく値上がりしているが、賃上げが追い付いていない。実質賃金が下がっている状況では、来客数の増加は見込めない。
	▲	コンビニ（店長）	・物価の上昇が更に加速するとみている。
	▲	乗用車販売店（従業員）	・メーカーにオーダーできない車や納期が伸びている車があるため、なかなか受注に結び付かない。
	▲	その他専門店〔酒〕（経営者）	・当地域では米価の異常な高騰に喜ぶ声もあるが、全体的にみると他への値上げの波及など悪影響が懸念される。今後どのようなようになるのか予想がつかない。
	▲	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・燃料油価格激変緩和対策事業の期限を迎え、販売価格は10円程度値上がりする。これにより節約志向が強まり、販売数量は減少するとみている。
	▲	一般レストラン（スタッフ）	・ディナーの来客数が急激に減っている。
	▲	観光型ホテル（スタッフ）	・忘年会や新年会を行わない企業が増えている。
	▲	都市型ホテル（支配人）	・国内外客共に先行予約は苦戦している。
	▲	旅行代理店（従業員）	・冬季に入り、当地域は人流の動きが鈍くなる。
	▲	その他サービス〔寮管理〕（管理人）	・米国の今後の政策や国内自動車産業の低迷が景気に与える影響を懸念している。また、税制上の壁がどうなるかも景気を左右するとみている。
	×	商店街（代表者）	・例年であれば12月の予約数が増える時期だが非常に少なく、年明けの予約もほとんど入っていない。インフレにより消費が極端に冷え込んでいる。
	×	スーパー（経営者）	・物価高も収まらず、更に買い控えが続くとみている。
	×	コンビニ（経営者）	・経費の増加、売上の低下は経営を極めて厳しくしている。冬期間は厳しいが今年は更に厳しくなる。毎年最低賃金の引上げも続く。辞めるオーナーが増えても、本部は売上至上主義なので締め付けは更に強くなる。
	×	衣料品専門店（経営者）	・例年1月、2月は売上が低迷する時期となる。秋冬商材が動かなくなるが、春にはまだ早く、寒さで来客数も少なくなる。
	×	一般レストラン（経営者）	・新年度に向けて個人客、法人客共に祝い事や歓送迎会に関する問合せが入っているが、物価高騰のなか今後の出費を考えると、景気は悪くなるとみている。
企業 動向 関連 (東北)	◎	—	—
	○	農林水産業（従業者）	・新米の流通が本格的になれば米価は下落するとみていたが、依然として高騰が続いている。このまま価格が維持されれば、米農家は収益の増加が期待できる。
	○	食料品製造業（製造担当）	・新たな販売チャネルを取り込めており、ギフト全体の需要の落ち込みをカバーできる見込みである。
	○	電気機械器具製造業（営業担当）	・取引先において、これまで止まっていた案件が動き出している。
	○	建設業（従業員）	・現在入札準備中の案件ほか、一定の受注契約が見込まれる。
	○	通信業（営業担当）	・年度末に向けて、今年度の予算消化を設備投資に充てる需要があり、一定数の受注が見込まれる。
	○	その他非製造業〔飲食品卸売業〕（経営者）	・県内における交流人口は引き続き増加が見込める。
	□	食料品製造業（経営者）	・ボーナスの支給状況によるが、余り期待はできない。
	□	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・役所の発注量が減っているため、年度末の売上が見込めない。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・一部の業種を除き全体的に停滞感がある。当社ではある程度の受注量を確保しているが、同業他社では仕事が少なく困っているという話をよく耳にする。

	<input type="checkbox"/>	電気機械器具製造業（企画担当）	・顧客の開発状況は活発になっているが、受注につながる具体的な動きはない。状況は変わらないとみている。
	<input type="checkbox"/>	輸送用機械器具製造業（経営者）	・一部事業に伸びはあるものの、全体を押し上げるまでは見込めず、厳しい状況が続くとみている。
	<input type="checkbox"/>	建設業（従業員）	・資材価格の高騰が続く状況のため、景気は今後も変わらない。
	<input type="checkbox"/>	建設業（従業員）	・これ以上対応できない受注量で推移している状況に変化はないとみている。
	<input type="checkbox"/>	輸送業（経営者）	・食品等の値上げラッシュにより節約志向が高まるなか、衆議院選挙での政権政党大敗や米国の今後の政策の影響がどう出てくるのか、非常に興味を持っている。物流業は消費が増えて物の動きが活発にならないと景気は良くならない。活発になることを期待したい。
	<input type="checkbox"/>	通信業（営業担当）	・客の対応が鈍い状態はしばらく続くとみている。新たな施策を講じていく必要がある。
	<input type="checkbox"/>	通信業（営業担当）	・予算検討の時期になるため、設備投資は一旦落ち着くとみている。
	<input type="checkbox"/>	金融業（広報担当）	・製造業、流通業界に関しては、原料価格やエネルギーコストの高騰は短期間では落ち着かないとみている。一般消費に関しても、政府の経済対策の即効性は期待できず、観光宿泊需要や年末商戦はあるものの、例年以上の盛り上がりは期待しづらい状況である。
	<input type="checkbox"/>	広告業協会（役員）	・物価上昇の影響による消費の伸び悩みは継続するとみられる。広告業界においても大きな変化が起こる見込みはなく、景気は変わらないとみている。
	<input type="checkbox"/>	広告代理店（経営者）	・地域間で差がある傾向は、今後も続く。東京では広告市場が回復しているという情報もあるが、当地域では回復にまだ時間が掛かるとみている。
	<input type="checkbox"/>	経営コンサルタント	・安定した需要は見込めるものの、人手不足などによる供給側の制約が消費を抑制する要因になっている。
	<input type="checkbox"/>	公認会計士	・製造業の顧客は、利益を出しつつある企業とまだ底辺から抜け出せない企業が混在しており、先が読めない。小売業、サービス業、建設業はある程度の業績を確保できるが、全体としてはやや良い状態にとどまるとみている。
	<input type="checkbox"/>	その他企業 [企画業]（経営者）	・年末年始の降雪による地域内のスキー場での集客増を期待している。
	<input type="checkbox"/>	その他企業 [協同組合]（職員）	・半導体関連の受注は上向く兆しがあるが、総体的に製造そのものの動きが良くない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	食料品製造業（営業担当）	・既存商品の売上の落ち込みが大きい上、新商品が想定より売れない。原材料価格の上昇も続いており、利益確保も難しい。
	<input checked="" type="checkbox"/>	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・同業他社でも取引先から支払条件変更の相談を受けるなど苦しい状況になっている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	金属製品製造業（経営者）	・顧客からの長期予測データは減産傾向になっている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	一般機械器具製造業（経営者）	・半導体装置向け部材の生産調整が入っている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	建設業（従業員）	・冬場は工事案件が減少するため、年内の工事が終了すれば売上は減少する見込みである。
	<input checked="" type="checkbox"/>	司法書士	・相続登記手続は前年比2割程度増加している。一方で、売買等の登記件数は2割程度減少している。今後も売買関連需要の減少が見込まれる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	コピーサービス業（従業員）	・物価高を許容できない販売先が出始めている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	農林水産業（従業者）	・冬になり果物がなくなる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	窯業・土石製品製造業（職員）	・公共事業、民間事業共に受注量が減少している。冬になり一層厳しくなるとみている。
雇用 関連 (東北)	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・年度末に向けた求人数の推移は良好であるため、期待が持てる。
	<input type="checkbox"/>	アウトソーシング企業（経営者）	・公共機関の発注単価が上がっているため、仕事量も増えるとみている。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（経営者）	・米国の今後の政策が我が国に与える影響により、中小企業にとっても輸出入が厳しいものになるとみっており、先が見通せない。

□	人材派遣会社（社員）	・製造業の求人の動きが鈍っている。地方ではインバウンド需要を享受している業界とそうでない業界で景況感に差が出ている。
□	人材派遣会社（社員）	・求人の動きは、年間を通して下向き傾向にあることと、今月の改善を裏付ける根拠がないことから、緩やかな悪化傾向が続くとみている。
□	新聞社〔求人広告〕（経営者）	・個人消費は若干回復傾向にある。しかし、倒産件数は増加しており、これから冬が来ることを考えると、景気が良くなる要因が見当たらない。
□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・明るい材料が見当たらず、変わらないとみている。
□	職業安定所（職員）	・物価が落ち着くまで今の状況は変わらないとみている。
□	職業安定所（職員）	・最低賃金の引上げによりコストが更に増加するため、求人数の減少傾向は続くとみている。
□	職業安定所（職員）	・大幅増員の求人はみられないが、雇用調整の動きも見られない。
□	職業安定所（職員）	・プラス要因になるものが見当たらない。
□	職業安定所（職員）	・企業立地の情報がある。一方で工場閉鎖の情報もある。
□	民間職業紹介機関（職員）	・周辺企業に増産の話もなく、求人数にも変化はないとみている。
▲	新聞社〔求人広告〕（経営者）	・物価上昇や人手不足で中小企業の経営はますます厳しくなっており、倒産も増えつつある。国内政治が不安定な上、この先の米国の政策も日本経済にはマイナス面が多いとみている。中小企業は厳しい状況に直面している。
▲	学校〔専門学校〕	・内閣や米国大統領の政策によっては、アジア各国に様々な影響が出てくることが予想される。
×	*	*